

東京医科歯科大学 難治疾患研究所 市民公開講座

— 最先端生命科学講座シリーズ 第19回 —

東京医科歯科大学難治疾患研究所は、「難治疾患に挑む。」をミッションに掲げる研究所であり、がん、心・血管病、神経疾患、骨・関節疾患、感染症・免疫病、生活習慣病など、幅広い領域にわたって研究しています。2009年には、文部科学大臣により難治疾患の全国共同研究拠点に認定されました。本市民公開講座では、最先端の研究内容を一般の方々にわかりやすくご紹介しています。

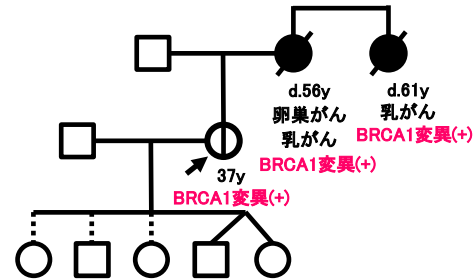
日時 平成29年 **10月20日(金)** 午後7時～9時
場所 スカイホール (文京シビックセンター26階)
文京区春日1-16-21

講演 1 遺伝性のがんについて：乳がん・卵巣がんから学ぶ

講師 三木 義男 (難治疾患研究所 教授)



「がんは遺伝しますか？」という質問を受けることがあります。答えは「はい」で、がんの中には遺伝により生じる「遺伝性がん」が確かに存在します。最近、遺伝性乳がん・卵巣がんが社会的に注目されましたが、医学的にも予防的切除や有効な薬物療法の開発が進んでいます。この講座では、遺伝性乳がん・卵巣がんを紹介しながら「遺伝性がん」について分かりやすくお話しします。



遺伝性乳がん・卵巣がんの家系図

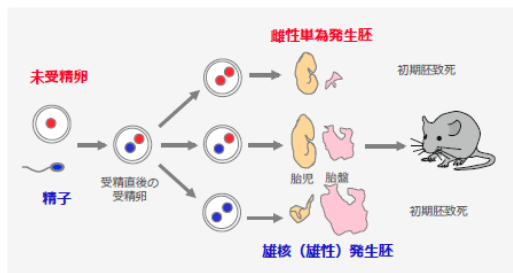
講演 2 ヒトおよび哺乳類ゲノムの特殊性と疾患との関係

講師 石野 史敏 (難治疾患研究所 教授)



ヒトを含む哺乳類は非常に特殊な生物群で、父親・母親由来の遺伝子が子供の個体発生の中で異なる役割をするゲノムインプリンティングという機構を持っています。また、胎生や脳機能など哺乳類の特徴を形作るのに外来の獲得遺伝子が重要であることもわかってきました。ヒト疾患とこれらの遺伝子の関係についてお話しします。

父親・母親由来のゲノムの機能的差異



みなさまのご参加をお待ちしております(定員90名・入場無料)

参加を希望される方は、往復はがきに「最先端生命科学19」と住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記載し、返信用には「**62円分の切手**」を貼り、宛先も記載して下記宛てにお申し込みください。〆切：10月6日(金) 必着 [公益財団法人文京アカデミーHP](#)からも申し込み可。〆切を過ぎての申し込みは、電話でお問い合わせください。

© 〒112-0003 文京区春日1-16-21 アカデミー文京 学習推進係 ☎03-5803-1119 (平日9:00～17:00)

学際生命科学東京コンソーシアムは、東京医科歯科大学、お茶の水女子大学、学習院大学、北里大学と連携し、地域のみなさまと産官学連携によるイノベーションの推進に貢献します。